令和5年度川崎医科大学附属病院主催

産業医慢性痛研修会

日時 2023年11月16日（木曜日）
19:00～21:00

会場 川崎医科大学現代医学博物館
（倉敷市松島577）

演題1

作業関連性運動器障害（腰痛や頸肩腕障害など）の予防・治療・職場復帰支援

滋賀医科大学社会医学講座衛生学部門　特任准教授
北原　照代 先生

くび・肩の痛み、腰痛などの運動器障害は作業と関連して生じることが多い。慢性化した疼痛は労働者のプレゼンティーズムに影響することが指摘されているが、職域での対策はまだ不十分である。本セミナーでは、作業関連性運動器障害の予防対策、休業者の職場復帰支援、治療と仕事の両立支援などについて、総説的に述べる。また、慢性運動器疼痛に有効とされている集学的治療について、職場復帰を果たした事例を中心に紹介する。

演題2

介護の現場で広がってきている腰痛予防の取り組み

びわこリハビリテーション専門職大学リハビリテーション学部
教授　垰田　和史 先生

［職場における腰痛予防対策　特に、福祉医療職場におけるノーリフティングケアの効果に注目して］
休業4日以上の労働災害の中で「腰痛は」は６割を占めており、その予防は、我が国の産業保健分野の最大の課題となっている。また、腰痛発生職種の中でも福祉医療職場からの発生が35%を超え、介護職や看護職の離職原因ともなっている。こうした現状に対して、国は、2013年に職場における腰痛予防対策指針を改定し「人力による抱え上げ」を原則禁止するノーリフティングケアを新たな予防対策として示した。本講義では、腰痛予防対策指針を概説するとともに、ノーリフティングケアについて実践例を交えてその効果を紹介する。

医療従事者、介護職の方など、慢性痛に興味をお持ちの方であればどなたでもご参加いただけます。QRコードから事前申し込みをお願いいたします。

お問い合わせ
川崎医科大学附属病院　麻酔・集中治療科「市民公開講座係」
E-mail：anesicu@med.kawasaki-m.ac.jp
086-462-1111（内線25513）

日本医師会認定産業医制度　生涯研修　専門：２単位